

第5次泉大津市総合計画（案）に対する 市民等の意見・提案と泉大津市の考え方

- 1 募集期間 令和6年7月24日（水）から令和6年8月23日（金）まで
- 2 提出方法 ご意見提出箱への投函、政策推進課への郵送、ファックス、電子メール、持参
- 3 提出人数 7人
- 4 提出件数 22件
- 5 主なご意見と市の考え方

	意見・提言の概要	市の考え方
1	<p>1. 終電まで営業している店舗がコンビニエンスストア等のみとなっており、商店街は20時頃には何も営業していない状態となっている。せめて終電までは開店している、食材が購入できるスーパー等の誘致をお願いしたい。店舗が増えず、事務所やアパートになっているので、もう少し活性化に向けて取り組んでほしい。</p> <p>2. 南海電鉄北助松駅の和歌山側にはトイレが無いため改善してほしい。また、泉大津駅から北助松団地近郊経由で堺東駅まで繋ぐ直通バスが通るよう、依頼してほしい。</p>	<p>1. ご指摘の商店街周辺に関する活性化に関しては重要であると認識しており、空き店舗における創業に際しては、家賃の一部を支援する創業支援を実施しているほか、商店街自身が行う商店街活性化事業に対し補助金を支給する等の支援を行っております。引き続きまちの活気や交流を生み、新たな「稼ぐ力」とにぎわい創出に繋がるよう取り組んでまいります。</p> <p>2. 南海電鉄の駅施設やバス運行に関しては南海電鉄株式会社の判断によるものではありませんが、本市においても安全安心で快適に移動できるまちを目指して取り組んでまいります。</p>
2	<p>1. 無料送迎バスを、泉大津市・高石市・忠岡町の2市1町連携運行としてほしい。年齢制限は撤廃し、65才以下は一律100円（幼児は無料）、65才以上は資格証の提示により無料としてはどうか。文化コースを新たに設定し、弥生文化博物館、あすとホール、久保惣記念美術館、正木美術館等を直結する文化圏を創造できるようにしたらよい。</p>	<p>1. 現在本市にお住まいの高齢者、障がい者、妊産婦及び乳幼児連れの人などの積極的な社会参画を促進するため、対象者は無償で乗降できる「ふれあいバス」を運行しています。さらに、高石市と忠岡町との2市1町広域連携により、令和6年2月から、高石市と忠岡町の福祉バスを本市の市民が利用可能となりました（相互利用）。今後も住み慣れたまちで安心して暮らし、快適に移動できるまちを目指して取り組んでまいります。</p> <p>文化コースの設定による文化圏の創造に関して、本市においては地域の歴史と文化を学ぶ機会の創出に努め、誰もが文化に親しみ、暮らしの中に潤いや生きがい生まれるよう取り組んでまいります。またご意見のとおり、近隣市町の特徴や立地条件を活かした広域連携が</p>

	<p>2. 他市に先んじて、18才以上の若者が積極的に政治参加できる枠組みを作る。市議会議員選挙にも立候補できるようにしてはどうか。</p>	<p>重要であると認識しております。なお、ふれあいバスのコースや停留所の選定については、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>2. 市議会議員選挙の被選挙権は公職選挙法により、本選挙の選挙権を持つ満25歳以上と定められていることからご提案に関しては実施困難なところもございますが、若い世代が政治に興味を持っていただけるよう、高校等への出前講座を始めとして、若い世代がまちづくりに参画する仕組みの構築に取り組んでまいります。</p>
3	<p>泉大津市のファンやリピーターを増やす為の案を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィン期間におづみんがダークキャラになる。コスプレ大会もよい。「トリックオアトリート」と言うシーパスパークで育てたヒマワリの種をプレゼントしてはどうか。 ・シーパスパークの芝生を活用し、モフ草履けり大会を開催してはどうか。 ・海辺に映えスポットを作ってはどうか。どこでもドア、ブランコ、階段等。 ・外国人にも体験してもらえ、近隣市町村（特に岸和田市）と連携しただんじり巡りスタンブラリーを開催してはどうか。 	<p>ご提案いただいたように、本市に魅力を感じる人を増やし本市への人の流れを作るための取組が必要であることから、現在、地域資源を活用したコンテンツ造成や社会課題の解決に繋がる本市の特徴的な取組の積極的な情報発信を行っています。例えば、本年9月21日・22日にシーパスパークで開催のイベント「IZUMIOTSU WELL-BEING EXPO 2024」は、官民連携・市民共創の取組を発信することを目的に実施予定です。今後とも本市をさらに魅力あるまちへ進化させ、シビックプライドの醸成、にぎわいの創出に向けて取り組んでまいります。</p>
4	<p>1. OODA ループ 長期計画を PDCA に集約して対応するのではなく、OODA ループの考えを並行させ、環境の変動リスク（災害も含む）等、外部環境の変化に迅速に対応する体制が必要ではないか。</p> <p>2. 将来に向けた人材の計画的な確保</p>	<p>1. 本計画(案)は長期計画であることから PDCA サイクルによる進行管理を前提としておりますが、お示しのとおり、変化の早い現代社会においては迅速に対応する OODA ループの考えを踏まえた取組の展開も求められます。つきましては、基本構想におけるまちづくりの視点といたしまして、物事の本質を思考し、根本的な解決のために迅速かつ柔軟なまちづくりを目指すとし、その考え方を取り入れているところです。長期的な方針である総合計画は PDCA サイクルとして進め、迅速対応が求められる場合には OODA ループの考え方を取り入れ、並行して取り組んでまいります。</p> <p>2. ご指摘のとおり、生産年齢人口の減少に伴</p>

	<p>今後優秀な人材の確保は、より困難になると感じられる。知る範囲ではすでに、東京で採用が困難なため、大阪で採用し東京に送っている事例がある。</p> <p>人材の減少は、表現は古いが、IT化ではカバーしきれない感がある。</p> <p>3. 市独自の食糧サプライチェーンの構築は、社会的共通資本増強とも言える。許される範囲で、赤字を許容しても現在は推進すべきだと思う。</p>	<p>って優秀な人材の確保が困難になっていくなかで市民サービスの維持向上を図るためには、DX（デジタル・トランスフォーメーション）改革と、人材確保のための取組が必要です。現在、DXによるノンコア（補助的な）業務の効率化に取り組んでいるところであり、今後もDXを推進してまいります。また、人材確保に関しては、若い世代がまちづくりに興味を持ち、次世代を担う人材育成として長期インターンシップを実施しているところでございます。今後も優秀な人材確保に向けて様々な取組を行ってまいります。</p> <p>3. ご指摘のとおり、「安全・安心な食糧の安定的確保に関する構想」に基づく市独自のサプライチェーン構築は、本市と連携自治体のみならず、日本の農業を守る重要な取組と考えております。今後とも不測の事態に対応しうよう、安定的な食糧確保と安全・安心な食の提供を目指して取り組んでまいります。</p>
5	<p>1. 計画(案)は、市民が誰でも読みやすく意見の反映できる長さで、わかりやすい概要や本文にすべきだと思う。</p> <p>2. 10年の長期案を作成する市民のワークショップについては、開催数・人数・討議時間が圧倒的に少ないと思う。シビックプライドの基本である当事者意識醸成には当事者参加が必須で、分野別ワークショップも開催し、当事者も交えた実のあるシビックプライドの形成をはかっていただきたい。</p>	<p>1. 総合計画は、様々な分野における方針を記述する性質上、ページ数が多くなる傾向にございますが、広くご理解いただけるよう、概要版を作成する際に、より分かりやすさを重視し、レイアウトやデザインの検討を行ってまいります。</p> <p>2. 本計画(案)を策定するため、令和5年度に4回、令和6年度に1回、計5回の市民ワークショップを実施いたしました。その内容は、地域性やアイデンティティの研究・共有から始まり、全体的な視点での将来像の議論や、分野にわかれてのグループディスカッション等、様々な議論をいただいたと考えております。ご指摘のとおり、市民共創の場は、シビックプライドの醸成に寄与するとともに市政への市民参画にもつながることから、引き続き市民共創の理念を踏まえ、機会創出に努めてまいります。</p>

3. 泉大津市に住み続けたいと思う市民の割合は高く、重要度では、高齢者福祉は3番目で前回順位からアップし、高齢者が生きがいを持ち、安心して高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう支援をうたっている。身体の衰えた高齢者へのくらしやすい町づくりへの具体的施策の実施が必要。

例えば、ふれあいバスは、高石市のらくらくバスのようにノンステップで、降車時のブザー設置や、停車場所、往復利用出来る実用的時刻表など利用者目線の施策が必要。

4. 高齢者が気軽に利用できる身近な場所に生涯学習施設を設置するなど、元気に行動できる環境づくりを実施していただきたい。

3. ご指摘のとおり、本計画（案）では、高齢者が生きがいを持ち、安心して健やかに暮らせるまちを個別目標の一つとして掲げ、地域全体で高齢者の暮らしを支えあうことで、高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らす姿とともに、地域活動などを通して社会参加することで、健康で生きがいを持った生活を送る姿を理想像としております。

現在本市においては、食事づくりが困難な一人暮らしの高齢者等に対して夕食をお届けする「配食サービス」や、同じく一人暮らしの高齢者等を対象に急病時などの緊急時に協力員などへの連絡を支援する「緊急通報装置の貸与」など高齢者施策を行っています。さらに、筋力低下で歩行が不安定になってきた高齢者に、効果的に筋力を増やし、体幹バランスを強化することで寝たきりの原因となる転倒を予防していただくよう、「筋力レベルアップ教室」などの介護予防講座を開催しています。

また、ふれあいバスにおきましては、泉大津急性期メディカルセンター（新病院）へのアクセスを含めた運行コースの見直し等によって、高齢者等の積極的な社会参加促進や利用者へのサービス向上に向けて取り組んでいるところです。

引き続き、いただいた意見を参考としながら、みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまちを目指してまいります。

4. 高齢者が元気に行動できる環境づくりにおいては、高齢者自身が地域で気軽に参加できる住民運営の通いの場の立上げ支援などを行い、市民主体のサークル活動の育成・支援をしているところです。引き続き、高齢者が地域活動等を通して社会参加することで、健康で生きがいを持った生活となるよう取り組んでまいります。また、地域住民の身近な活動・交流の場として、各小中学校の特別教室を活用できる地域交流ゾーンの整備に取り組んでおります。高齢者に限らず今後もすべての世代が気軽に学び

		<p>あい育ちあい、目的を持って社会参画しているまちを目指してまいります。</p>
6	<p>1. 基本構想のP.9に「75歳以上を除くすべての世代で満足」とあるが、つまり75歳以上は満足していない。高齢者からみると、道路がでこぼこであり、自転車で走るとあぶない。歩道も同様で、こけた人もいる。</p> <p>2. 防災の項目がふえてうれしい。女性の視点をもっと取り入れてほしい。防災の課に女性を増やして欲しい。</p> <p>3. アンケート結果はコロナの時にしていたとしたら、正しい結果ではないので信用できない。</p> <p>4. 泉大津（まち）への愛着や誇りをもった市民団体、民間事業者にその機会を創出することが大事だと思う。</p>	<p>1. 道路の維持管理については、日常のパトロールで舗装の悪い場所や盛り上がっている所などの点検を行うとともに市民の皆様からのご意見なども参考にし、歩行者や自転車利用者が安全に通行できるよう、舗装の打ち換えや補修等行っているところです。引き続き、安全安心で快適に移動できるまちを目指して取り組み、また、高齢者が生きがいを持ち、安心して健やかに暮らせるまちの達成に向けた施策を展開するなど、75歳以上の方の満足度向上に努めます。</p> <p>2. 本市では、令和2年度から女性の視点を取り入れた防災対策を強化しており、ジェンダー研究者や女性防災士のアドバイスを受けています。具体的には、生理用品の拡充、プライバシーを守るテント、清潔なトイレやシャワー、赤ちゃん用ベッド、妊産婦専用避難所などを整備しました。現在、危機管理課の職員7名中2名が女性です。全国的に見ても女性職員の配置がない自治体が6割以上ある中で、本市の取り組みは注目され、新聞やテレビ、都道府県知事の研修会でも紹介されました。今後も市民の皆さんの声を反映しながら、さらなる課題解決に努めてまいります。</p> <p>3. 本計画（案）の策定にあたりましては、令和5年度及び令和6年度に市民アンケートを実施したものでございます。なお、市民アンケート調査においては、コロナ禍に限らず、調査時点の社会情勢の影響は避けられないものであり、適宜その解釈においては慎重に取り扱うものと考えております。</p> <p>4. 基本構想におけるまちづくりの視点といたしまして、「市民共創」のまちづくりで、シビックプライドの醸成を目指すとしております</p>

	<p>5. 他者への尊敬が自分を大事にするにつながると思う。</p> <p>6. 緑多い町にしてほしい。</p>	<p>が、まちへの愛着や誇りをもった市民・団体・民間事業者等の多種多様な主体がまちづくりに参画することが、持続可能なまちづくりに繋がると考えております。今後とも「官民連携」「市民共創」のまちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>5. ご指摘のとおり、基本構想における基本理念2 多彩な人材の活躍においては、まずは、自身の個性や特徴を認識し、肯定的に受け入れることが重要であり、他者への個性や特徴を受け入れ、理解と共感を深め、お互いに認め合うとしております。</p> <p>6. 市域に山林がなくほとんどが市街地であるため、市内においてみどりを感じにくい状態ではございますが、街路樹や農地の保全などに取り組むとともに、昨年オープンしたシーパスパークでは、数年後には樹木が成長し、よりみどりを感じていただける空間となると考えております。引き続き、みどりが身近に感じられるまちづくりを進めてまいります。</p>
7	<p>1. 泉大津市の市民のいのち、くらし最優先に行政をすすめてほしいと希望する。いのちと言うと病院だが、市民に様々な要望、不安があるにもかかわらず、どこで、誰が計画を立て突っ走って来たのか。立派な建築物が出来た。それに関わってきた市長をはじめ、幹部職員はほんとは市民が喜んでもらえるものが出来たと胸を張って言えるか。何だか市民を裏切ったという感じがする。</p> <p>市民ファーストで行政運営をお願いしたい。</p>	<p>1. 本計画（案）ではみんなが生き生きと、心豊かに健やかに暮らせるまちを個別目標の1つとして掲げ、その内の1つに公立病院として担うべき役割を明確化し、持続可能な地域医療提供体制を構築するとしています。</p> <p>現在の市立病院は、様々な事情から非常に厳しい経営状況に陥っている上に、これからの人口動態による医療需要の変化に対応した医療体制を将来にわたって提供していくことが困難であるため、これらを解決する術として社会医療法人生長会の府中病院との機能統合、再編の事業を進めてきたものです。</p> <p>本年12月の泉大津急性期メディカルセンターの開院及び市立周産期小児医療センターのリニューアルオープンによって、救急医療、災害医療、感染症対策が強化され、それぞれが強みや特徴を生かす役割を担うことが公立病院に課せられた使命であり、市民の皆さんの安心、</p>

<p>2. 市民会館がなくなった。それに代わる文化ホールを作る考えはないのなら、今あるテクスピアをリフォームして、音響効果をよくして、音楽会が出来るようにしてほしいと思う。そして市民団体が手軽に使えるように使用料を今の半額位にしてほしい。学習会や講演会など市民団体が主催で行うのに 1/3 位の料金でもいいと思う。</p> <p>広い所が多いので、長寿園のように手軽に使えるものは、統廃合するのではなく見直して、リフォームをして、近くで手軽に行くことが出来る施設、それは見直して存続してほしい。公園や施設の駐車場は無料にしてほしい。</p> <p>3. 市の財産や土地は民間に売り渡さないでほしい。統廃合して建て物を壊して空地にしているが、何か計画があるか。売る為においてあるのではないか。</p> <p>4. 市街地はどこを走ってもひどい位ひび割をしている。穴があいているところもある。道路より福祉をとということも聞くが、福祉へまわしたので道路予算がないとは思わない。</p>	<p>安全につながるものと考えています。引き続き持続可能な地域医療提供体制の構築に向け取り組んでまいります。</p> <p>2. テクスピア大阪は産業振興の拠点であることに加え、市民会館の機能を有する施設で、使用料につきましては、本市が補助金を支出している団体や後援をしている団体に対しましては 75%の減免を、また市内在住・在勤者の方々等につきましては 50%の減免を行っており、市民団体の皆様にも手軽にご利用いただけるよう運用しているところです。また、テクスピア大阪内には、大ホール、小ホール、ミニホール、大小貸室があり、これまで設備の更新や利用者ニーズに対応した貸室を新設する等の利用者目線によるサービス向上に努めてまいりました。引き続き、市民の皆様をはじめ、より多くの方々にご利用いただけるよう努めてまいります。</p> <p>長寿園につきましては、多世代が集う地域コミュニティ施設として機能転用し、他の公共施設等との複合化も視野に入れながら、利用実態を踏まえ各小学校区内 1 施設への統合を進め、みんなが利用しやすく、みんなが集える公共施設のあるまちを目指し取り組んでまいります。なお、公園や施設等の駐車場使用料においては、各施設の規模や性質により、応分の負担として適宜設定しているところです。</p> <p>3. 施設の複合化・多機能化により生じてくる土地等は売却・賃借を含めた利活用による検討を行い財源確保に努め、みんなが利用しやすく、みんなが集える公共施設のあるまちを目指し取り組んでまいります。</p> <p>4. 道路の維持管理については、日常のパトロールで舗装の悪い場所や盛り上がっている所などの点検を行うとともに市民の皆様からのご意見なども参考にし、歩行者や自転車利用者が安全に通行できるよう、舗装の打ち換えや補</p>
---	--

		<p>修等行っているところです。引き続き、安全安心で快適に移動できるまちを目指して取り組んでまいります。</p>
--	--	--